

授業科目名 (英訳)	グローバルコミュニケーション I Global Communication I				担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 教授・河合 江理子					
配当学年	1・2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 通年	曜時限	水/2	授業形態	演習	使用言語	英語
〔授業の概要・目的〕											
<p>社会のあらゆる場面でグローバル化が進展しており、我が国のプレゼンスを高める意味でもグローバル人材の育成が求められている。こうした状況にあって、国際機関等でグローバルに活躍したいと希望している学生は多いが、英語力の向上を以ってそれに臨もうとすることが多い。ただし、英語力の向上だけではグローバルな展開をすることは困難である。こうしたことに的確に対応するには、コミュニケーション能力をはじめとする様々な能力を備え、今や国際共通語となっている英語をベースとした、情報発信ができる能力を培う必要がある。この授業では、それらを体得させるため、その主要な柱となる英語によるコミュニケーションスキルとリーダーシップスキルの向上を目指し、演習的技法を採り入れる。具体的には、主に学生の学位論文研究にかかわる研究テーマを授業の題材として取り上げる。学生一人ひとりに彼らの学位論文のテーマの設定並びにその課題解決法についてプレゼンテーションを行わせることによって、英語での speaking, listening 能力（プレゼンスキル、ディベート）を磨き、また、レポート作成演習を通じて英語文章作成能力を強化させる。英語で国際政治、時事問題を中心に討論させることにより、読解力を積み上げさせるとともに、国際機関で必要な世界情勢に対する知識を身につけさせる。また、インターネット教材も必要に応じて適宜活用し、高度な英語読解力、聞き取り能力を身につけさせる。さらに、リーダーシップスキルに関しては、国際機関等で活躍しているリーダーをゲストスピーカーとして招くことにより、その業務知識や経験に裏付けられたチームワークやチームを導く指導力を学ぶとともに、学生間のグループワークを採り入れ、講師と学生との議論を通じて生きたリーダーシップスキルを体得させる。なお、TOEFL-IBT スコアが 80 点以下（相当）の学生を対象とし、授業は英語により行うが、必要に応じて日本語で解説する。</p>											
〔到達目標〕											
海外インターンシップに必要な英語力（リーディング、スピーキング、ヒヤリング、ライティング）とプレゼンテーションなどのコミュニケーション能力の向上。											
〔授業計画と内容〕											
<p>プレゼンテーション（第1回～第12回）</p> <p>プレゼンテーションの基本を学ぶと共に、視覚的にわかりやすい資料の作り方、non-verbal communication (声、ジェスチャー、ボディランゲージ)、効率的なコミュニケーションの理論を学び、個人によるプレゼンテーションならびにグループによるプレゼンテーションについて演習形式で学びを深める。また、効果的な質疑応答の方法論も組み込む。具体的には、学生ひとりひとりが研究に着手した学位論文のテーマについて、それぞれの背景や目的などについて英語でプレゼンテーションを行い、グループで議論する。</p> <p>グローバルリーダーシップ（第13回～第18回、第29、30回）</p> <p>担当教員の国際社会でのこれまでの活動をもとに、国際的なキャリアデザインに関する必要な知識や経験について英語による講義を行い、講演内容を英語でまとめたレポートを提出させる。また、学生自身の将来のキャリアプランについて英語によるレポートを提出させる。国際機関等で活躍しているリーダーをゲストスピーカーとして招き、国際的に働く事についての意義や、必要なスキルについて英語で解説し、それに基づきグループで議論する。</p> <p>政治、経済、金融（第19回～第28回）</p> <p>Japan Times や Newsweek の時事問題に関する記事を読み込み、サマリーを英語でまとめる。またトピックスごとにグループで英語による討議を行う。これにより、実用的な英語の語彙を増やし、さらに必要な情報を取捨選択し、内容を理解、整理した上で議論ができる発信的能力を身につける。また、Khan Academy や edX などの英語のオンライン授業を教材として選択し、学生がそれぞれの専門分野の授業を理解できる英語の理解力、聞き取り力の向上をめざす。</p>											
〔履修要件〕											
特になし											

〔成績評価の方法・観点及び達成度〕

- ・授業への貢献度（プレゼンテーション、出席、質疑応答への準備度） －50%
- ・英語レポート（グローバルリーダーシップ、時事問題サマリー） －50%

〔教科書〕

使用しない。随時参考文献等のプリントをメールで配布する。

〔参考書等〕

河合江理子『自分の小さな「鳥かご」から飛び立ちなさい』（ダイヤモンド社、2013年）

〔授業外学習（予習・復習）等〕

履修者は教室で行う作業のための予習・準備を必ずして授業に臨むこと。授業時間と同様かそれ以上

〔その他（オフィスアワー等）〕